

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP広島IIプロジェクト	階数	地上5F
建設地	広島県広島市中区江波南2丁目1461番1	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	374 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2021年12月2日
敷地面積	23,107 m ²	作成者	五洋建設株式会社
建築面積	13,782 m ²	確認日	2021年12月2日
延床面積	49,793 m ²	確認者	五洋建設株式会社

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.7 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★</p> <p>環境品質 G</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 44% (41 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の 44% (41 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>④上記+ 44% (41 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0</p> <p>音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.7</p> <p>機能性 耐用性 対応性</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.1</p> <p>生物環境 まちなみ 地域性・</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.9</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2</p> <p>建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.6</p> <p>水資源 非再生材料の 汚染物質</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.9</p> <p>地球温暖化 地域環境 周辺環境</p>

3 広島市の重点項目		
<p>重点項目の総平均スコア = 3.4</p>		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 4.2</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 // LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。太陽光発電システムを採用するなど、エネルギー面にも配慮している// 自動水栓、省水型機器を用いるなど水資源を保護している OAフロアを採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしている / 運用時のLCCO₂排出量を低減している</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 1.7</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 / 駐輪場・駐車場及び管理用車両の駐車施設を確保、出入口を2ヶ所設置し、車両の出入りを円滑にしている</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.2</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 補修必要間隔の長い仕上材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している / ケーブルラックを採用するなど設備の更新性に配慮している</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される